**第２回 室蘭港カーボンニュートラルポート推進協議会**

日時： 令和6年3月11日（月） 13：30～15：00

場所 ：室蘭市防災センター研修ホール、オンライン（Zoom）

**議事内容（以下、敬称略）**

**開会**

事務局（室蘭市　港湾部　長澤課長補佐）の司会により、令和5年度第2回 室蘭港カーボンニュートラルポート推進協議会を開会した。

**議事**

事務局（室蘭市　港湾部　長澤課長補佐）より資料の確認を実施し、参加者の紹介は出席者名簿にて代替した。その後、事務局（室蘭市　港湾部　長澤課長補佐）の司会進行により議事を開始した。

**主催者挨拶**

室蘭市　白熊副市長より、協議会開催に際し室蘭市を代表して挨拶を申し上げた。

**北海道開発局情報提供**

北海道開発局　港湾空港部港湾計画課　早川課長より、港湾における脱炭素型荷役機械等実証支援やカーボンオフセット等について、資料3を用いて、説明が行われた。

**室蘭市から情報提供**

事務局（室蘭市　港湾部　佐々木係長）より、「室蘭港港湾脱炭素化推進計画案」について、資料4を用いて、説明が行われた。

* **質疑応答**

事務局（室蘭市　港湾部　長澤課長補佐）の司会により、ご参加の各社・団体より、ご意見・ご質問頂いた。

・北海道開発局からの情報提供で説明のあった荷役機械の導入支援実証について、非常に心強い取り組みという期待感がある。（関係団体）

・荷役機械の導入支援実証活用し、少しでもカーボンニュートラルに向かうように少しずつ進めていきたい。（関係団体）

・洋上風力の生産拠点化やプレアッセンブリの拠点化が掲載されているが、どのように削減目標につながるのか。（民間事業者）

→当計画には室蘭港エリアからの排出量を算定しているため、洋上風力関連の削減量は見込んでいない。（事務局回答）

・カーボンニュートラルの取組について課題はたくさんあるが、なんとかクリアして2050年のカーボンニュートラルを実現したい。（民間事業者）

・室蘭港の長い防波堤に作用する波力が大きくなるとすると、何らかの補強をしなければならない。例えば防波堤の裏側に採石を盛りストッパーにすると、そこがブルーカーボン、いわゆる藻場になる可能性が高い。（室蘭工業大学　木村教授）

→レベル1津波（これから起きる最大の津波ではなくてもう少し頻度の高い津波）に対しては安定であると確認できている。しかし、さらに大きい津波も来る可能性があるので、今後、そのような構造について検討したい。（北海道開発局　早川課長）

・室蘭の近くの胆振海岸で海洋事業をしているが、そこの人工リーフという浅場は、ブルーカーボンの認証が取れたという話も聞いている。身近な事例を参考にしながら、ブルーカーボンの方に少し力点を置いて検討していってはいかがか。（室蘭工業大学　木村教授）

→ブルーカーボンは場所が限られるが、今後の事業に合わせ、何かできることがあれば、考えていきたい。（事務局回答）

・室蘭港のようにカーボンニュートラルに関連して、これほどの企業が集積し、海洋産業の拠点となろうとしているところはほとんどない。当大学は約60年近く海洋産業界に学生を送り続けており、今後も人材確保等でお手伝いしていきたい。（東海大学　渡邉教授）

* **室蘭港港湾脱炭素化推進計画（案）についての委員承認**

室蘭港港湾脱炭素化推進計画（案）について、承認された。

**閉会**

閉会にあたり、事務局（室蘭市　港湾部　佐藤部長）より挨拶を申し上げた。

以上